

ベンチマナーについて

近年指導者等によるベンチマナーについて問題が発生しているとの報告を受けています。次のようなことを行ってはなりませんので再確認をして下さい。

- 審判（ＴＯを含む）や相手に対して、不法に話しかけることや大きな声をだすこと。
- プレイに対して「ファウル!」「歩いた!」等の声を出し、審判の判定に対して無作法に不服を言うこと。
- テーブルやイスをたたいたり蹴ったりすること。
- 試合中に出場選手以外がコートの中に入ること。（選手の負傷等、特別な場合を除く）
- チーム責任者や指導者がベンチの前を離れて指示を出すこと。
- ベンチ内に鳴り物を持ち込むこと。
- ベンチ内でビデオ撮影、写真撮影、携帯電話を使うこと。
- ベンチ内外を問わず、選手に対して暴力行為を行うこと。

このような行為に対して、審判は厳格に対処します。また内容によっては、大会本部としても注意や警告に留まらず、出場停止等の重い処分をすることもあります。

保護者の応援について

ベンチ外の保護者の応援が興奮のあまり、ときに自チームの応援に留まらず、相手チームの中傷や審判への罵声が聞かれることがあります。このベンチの応援については、ルール上何ら規定はありませんが、ミニバスケットボールにおいては、それを容認することはできません。また、チームの品位や指導者の資質まで疑われることにもなります。各チームの指導者はベンチ外の応援についても、十分にご配慮をお願いいたします。